

卒業生の前途に幸多かれ!! 令和4年3月1日(火)

本日午前10時から、第42回卒業証書授与式を行いました。新型コロナウイルスの感染拡大防止の対応を取りながら、来賓のご臨席も限定して実施しました。

開式を待つ保護者の皆様には、生徒たちの高校生活の思い出を綴ったスライド(第3学年の教職員制作)を見ていただきました。

温かい拍手に包まれて卒業生が入場したあと、総代の竹内蒼空君が富樫校長から卒業証書を受け取りました。



【卒業証書授与】



【晴れの日を迎えた卒業生】



【校長 式辞】

式辞で富樫校長は「どんなに苦しいことに会っても、友を信じ、家族を信じ、そして『礼儀』『出会い』『自分』を大切に、たった一度しかない人生を強く、しなやかに、そして誇り高く生きてください」と^{ほなむけ} 饒の言葉を述べました。

理事長の告辞に続き、来賓の後援会長 松本浩二様と同窓会長 岩脇秀三様から祝辞をいただきました。卒業生は、姿勢正しく話を聴き、それぞれの言葉を心に刻んでいました。

送辞では、在校生代表の真栄城雄飛君が、お世話になった卒業生への感謝の気持ちを伝えました。

これを受けて、卒業生代表の竹内蒼空君が答辞で、仲間や後輩との思い出を振り返りながら「明日からは、全員が別々の道を歩み、つらいことがたくさんあるかもしれませんが、高朋高校での経験を思い出して進んでいきます」と力強く述べました。

式は終始、厳粛かつ温かな雰囲気の中で執り行われ、出席者全員で卒業生の門出を祝いました。



【送辞】



【答辞】

式の終了後、卒業生38名は、教室で最後のホームルームを行ったあと、在校生、保護者、教職員が見送る中、晴れ晴れとした表情で学び舎を巣立っていきました。

